

週目点

川本 裕子 早稲田大学教授



▶米中首脳会談 貿易摩擦など焦点に

二十日、ブッシュ米大統領と胡錦濤・中国国家主席による米中首脳会談がワシントンで開かれる。胡氏にとっては二〇〇三年に国家主席に就任後初めての公式訪米。政治、安全保障など包括的に協議する見通しだが、貿易摩擦や人民元改革などの経済問題が大きな焦点となりそうだ。

経済成長を続ける中国に米国が構造改革を迫る図式は、一九八〇年代以降の日米貿易摩擦を思い起こさせる。米国政府は制裁措置をちらつかせて日本に市場開放や規制緩和を迫った。これに対して日本は政府が構造改革を進め、民間企業は米国への直接投資などを通じて世界市場で生き抜く戦略を実行した。最近の日米経済関係は当時に比べれば平穏である。

現在、米国は好景気を維持しており当時とは環境は異なるが、経済規模を拡大する中国への警戒感はその簡単には消えないだろう。米中の間で日本がどう振る舞うかも、世界的にも重要な問題だ。